

# V 効果的なプログラムの作成

## 1 作成手順

- ①対象者・人数・日程を決める。  
年齢や構成メンバーの関係により、ねらいも変わってきます。活動できる時間も確認してください。
- ②ねらい（目的）を明確にする。  
活動を通して学んでほしいことや感じてほしいことを明確にしてください。活動そのものは手段です。
- ③ねらいに沿った活動を決める。  
当施設の活動プログラムはP25～P29をご参照ください。団体独自の活動でも大丈夫です。
- ④フィールドや備品を確認する。  
広さや備え付け備品などを確認してください。当施設で購入・貸し出しできる備品もあります。
- ⑤試行（検証、修正など）する。  
実地踏査などで、代表者の方も体験していただくと、ねらい達成に近づきます。

\*③④⑤に関して、**事前打ち合わせ・実地踏査**をぜひ行ってください。

※安全かつ効果的な活動となるには重要です。

※事前打ち合わせは、お電話での予約制です。

※当施設職員が、施設利用のルールや活動プログラムについてご案内します。

※プログラムの作成方法などや、指導方法などのご相談もお受けします。

## 2 ねらいに沿った活動例

- (1) 自然とのふれあいをねらいとした活動例  
ハイキング・星空観察・オリエンテーリングなど
- (2) 達成感や感動などをねらいとした活動例  
登山活動・ハイキング・キャンプファイヤー・キャンドルファイヤーなど
- (3) 仲間作りや協働をねらいとした活動例  
オリエンテーリング・野外炊事・創作活動など

## 3 留意点

- ・活動の組み合わせは、「**一連の流れ**」があると良いです。
- ・過密なプログラムを避け、**ゆとりあるプログラム**を展開してください。  
(午前・午後・夜にそれぞれひとつずつ)
- ・体力的にハードなものと、クラフトなどのソフトなものを**組み合わせる**ことも効果的です。  
(例：午前：ハイキング 午後：焼き板 夜：キャンプファイヤー)
- ・野外活動は天候に左右されますので、**荒天時の代替プログラム**を計画してください。
- ・各活動に、**ふり返りの時間**を設けると、学びや気づきを定着させる効果があります。

## 4 参加者への指導

当施設では、原則として参加者への指導は団体の指導者に行っていただいております。プログラムの指導・進行について、事前打ち合わせなどの際にご相談に応じることができます。

### 【事前指導】

- ・活動のねらいや、プログラムの内容を参加者に周知することで参加意欲が高まります。
- ・当施設利用のルールや生活時間など、あらかじめ参加者へ指導してください。
- ・心身の健康、体調管理を万全にして、体験活動に臨むようにしてください。